

平成 26 年度北海道支部研究会のご案内

本年度の日本計画行政学会北海道支部研究会を下記のとおり開催いたします。支部研究会は、道内の優れた計画行政に関する取り組み・研究成果の報告の場であり、また情報交換の場でもあります。どうぞご参加下さい。

(シンポジウム・研究報告の参加は無料です。事前申し込みは必要ありません)

1. 日時	平成 26 (2014) 年 11 月 14 日 (金) 13:30~17:00
2. 会場	小樽商科大学札幌サテライト 〒060-0005 札幌市中央区北 5 条西 5 丁目 7 番地 sapporo55 ビル 3 階 Tel.(011)218-6377
3. プログラム	<p>シンポジウム</p> <p>「地域愛とソーシャル・キャピタル —地域の社会環境の変化に対応するために」</p> <p>急激な人口減少、過疎化など社会環境の急激な変化によって日本各地の地域社会は厳しい状況におかれています。とりわけ北海道は人口密度が著しく低いことなどから地域社会の存続が危ぶまれ危機的な状況にあるため、その対策が急務となっています。</p> <p>このような状況に対して住民が地域への愛着をもち、地域住民の相互の信頼関係を深めネットワークを形成することによって地域の課題を解決しようとする取り組みがみられるようになってきています。</p> <p>本年度のシンポジウムでは、「北海道の地域社会における人口減少と過疎化の現状と課題（仮題）」と題し、北海道集落対策・地域づくりグループの西田 潤主幹、札幌大谷大学の梶井祥子教授、札幌大学の佐藤郁夫教授をお招きしてそれぞれのお立場からみた北海道の高齢化、過疎化と地域再生の現状や課題について話題提供いただきます。それを踏まえて地域住民の地域に対する愛着やソーシャル・キャピタル（地域住民の信頼・規範・ネットワーク）による対策の在り方をパネルディスカッション形式でご議論いただきます。</p> <p>(各 20 分・全体討論 70 分)</p> <p>①西田 潤 (北海道総合政策部地域づくり支援局集落対策・地域活力グループ主幹)</p> <p>②梶井祥子 (札幌大谷大学地域社会学部・教授)</p> <p>③佐藤郁夫 (札幌大学経営学部・教授、本学会北海道支部事務局長)</p> <p>司会 吉地 望 (武蔵女子短期大学経済学科・教授)</p> <p>研究報告 (奨励研究)</p> <p>(30 分 : 報告 20 分 + 質疑 10 分)</p> <p>① 中村紘喜 (北海学園大学大学院)</p> <p>「CVM とクラスター分析を活用したエゾシカによる損失価値評価と対策システムの提案」</p> <p>討論者 山本 充 (小樽商科大学)</p>
4. 問合せ	日本計画行政学会北海道支部 〒069-8501 江別市文京台緑町 582 番地 酪農学園大学押谷研究室 Tel.011-386-1111 内線 4837 Email : hajime@rakuno.ac.jp 直通電話 押谷 (おしたに) (011-388-4837)

付記 :

- ① 来年度も支部研究会を開催する予定です。ふるってご参加下さい。
- ② 40 歳以下の若手研究者を対象とした、支部奨励研究の募集も予定しています。
- ③ 来年度の全国大会は、名古屋産業大学です。

* 日本計画行政学会北海道支部は、日本都市計画学会北海道支部・北海道都市地域学会と協力連携関係にあります。